

海域の概要

本湾は、三陸海岸南部に存在する湾です。ホタテ・カキ・ホヤ・ワカメなどの養殖が盛んで、中でもホタテの水揚げ量は宮城県一を誇ります。



Specification

諸元

湾口幅：3 0 1 k m

面積：1 9.8 2 k m²

湾内最大水深：4 6 m

湾口最大水深：4 6 m

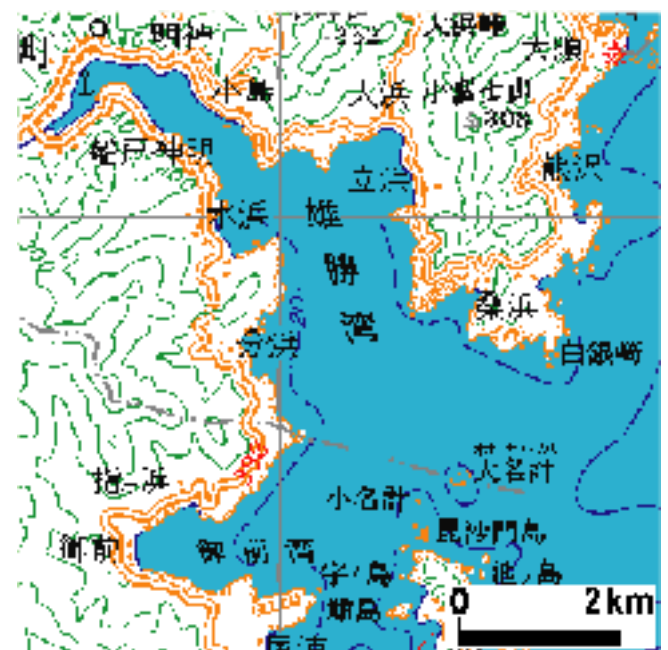
閉鎖度指標：1 4 8

備考：環境基準類型指定水域

Location

範囲または位置

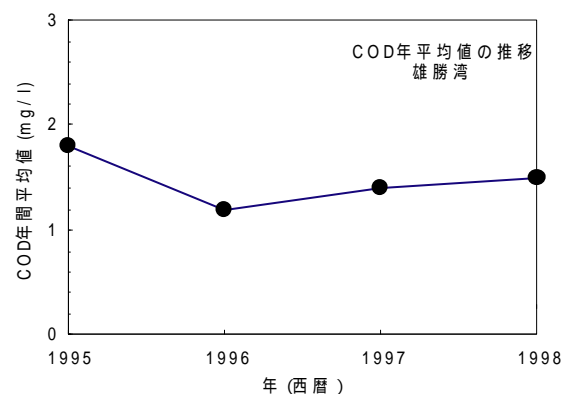
宮城県桃生郡雄勝町白銀崎と牡鹿郡女川町出島北端を結ぶ線、牡鹿郡女川町犬吠埼から 82 度に引いた線及び陸岸により囲まれた海域。



環境

湾口を太平洋に開いている湾で、沖合を津軽暖流と親潮の分岐流が南に向かって流れ、さらにその沖合を黒潮続流が南から北に流れています。気候は太平洋気候帯に属しており、東北地方の中では冬も温暖で積雪量も極めて少ない地域です。

汚濁要因となる流入河川はほとんどなく、湾奥に小河川が流入するのみです。COD 年平均值では、2mg/l 以下で推移しており、水質は概ね良好です。



自然

雄勝湾は南三陸金華山国定公園内に位置し、湾奥から 1 km 程度でくの字に曲がり、湾口に向かって広がっています。明神では雄勝天然スレートを生産し、雄勝町の特産品である硯として加工されています。

湾内には、ワカメ、コンブ、ホンダワラ類を主体とする藻場が点在しています。

雄勝半島を挟んで雄勝湾の北、名振湾には、全島が原始林で覆われた八景島があり、ユズリハ・モチノキ・タブノキ・トベラ等の常緑樹が落葉樹と交錯して育成しており、暖地性常緑樹群落の北限として「国定天然記念物」に指定されています。



八景島

文化歴史

国指定重要無形民俗文化財の雄勝法印神楽は、三陸沿岸部に伝わっている法印神楽の一つです。



雄勝法印神楽

産業

雄勝漁港は、イワシ漁の基地として知られ、また、雄勝町は硯の生産でも有名です。

特産物は、ホタテ、ギンザケ、ウニ、ホヤ、ワカメ、粒ウニ等の水産物の他、雄勝硯、玄晶石タイル、雄勝石クラフト、雄勝筆筒があります。